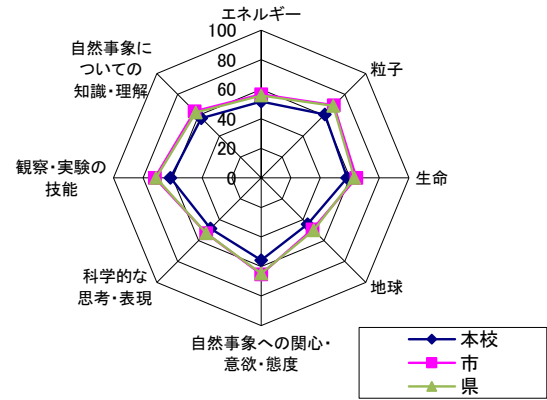


宇都宮市立鬼怒中学校 第2学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	エネルギー	51.7	56.6	55.8
	粒子	60.9	69.6	69.0
	生命	58.2	64.4	63.0
	地球	44.4	49.2	50.2
観点	自然事象への関心・意欲・態度	55.7	65.2	64.7
	科学的な思考・表現	48.6	52.8	52.8
	観察・実験の技能	61.4	72.0	71.2
	自然事象についての知識・理解	57.3	63.7	62.7



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
エネルギー	○問題別でみるとおもりがばねを引く力を判断する問題では県正答率を5ポイント上回った。 ●領域別正答率が県平均より4.1ポイント、市平均より4.9ポイント下回っている。	・実験結果をもとに考察したり、考えたりすることに苦手意識を持つ生徒が多くいるので、日々の授業の中で考える時間を大切にしていける必要がある。 ・授業で行わない実験のさいに見通しを持って考えることが苦手であるので、見通しを持って実験に取り組めるように工夫する。
粒子	●領域別正答率が県平均より8.1ポイント、市平均より8.7ポイント下回っている。 ●状態変化を考える問題での正答率が特に低い。	・実験結果をもとに考察したり、考えたりすることに苦手意識を持つ生徒が多くいるので、日々の授業の中で考える時間を大切にしていける必要がある。
生命	○問題別でみると植物を分類する特徴を判断する問題では県正答率を5.7ポイント上回った。 ●領域別正答率が県平均より4.8ポイント、市平均より6.2ポイント下回っている。	・花のつくりや分類の特徴など基礎的な知識を十分に理解できていない点があるので、基礎基本や知識理解の内容を確実に定着させていける必要がある。
地球	●領域別正答率が県平均より5.8ポイント、市平均より4.8ポイント下回っている。 ●問題別でみると断層を考える問題で県平均より14.5ポイント下回り、特に低くなっている。	・地層の内容が特に理解できていないので、基礎基本的なところからしっかりと復習する必要がある。